

登録済独立監査人の監査報告書



松下電器産業株式会社 取締役会 御中

私どもは、添付の松下電器産業株式会社及び子会社の、日本円表示による、2004年及び2003年3月31日現在の連結貸借対照表、及び2004年3月31日に終了した3年間における各会計年度の連結損益計算書、連結資本勘定計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書について監査を実施した。これらの連結財務諸表は、松下電器産業株式会社の経営者の責任において作成されたものである。私どもの責任は、私どもの監査に基づいてこれらの連結財務諸表について意見を表明することにある。

私どもは、米国公開会社会計監視委員会の基準に準拠して監査を実施した。これらの基準は、財務諸表に重大な虚偽記載がないかどうかについて合理的な確証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを要求している。監査は、財務諸表上の金額及び開示の基礎となる証拠の試査による検証を含んでいる。また、監査は、経営者が採用した会計原則及び経営者が行った重要な見積りの検討、並びに財務諸表全体の表示に関する評価も含んでいる。私どもは、私どもの監査が私どもの意見表明に対する合理的な基礎を提供しているものと確信している。

私どもの意見によれば、上記の連結財務諸表は、すべての重要な点において、松下電器産業株式会社及び子会社の2004年及び2003年3月31日現在の財政状態、並びに2004年3月31日に終了した3年間における各会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローを、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に準拠して適正に表示している。

連結財務諸表注記1(i)及び9にあるように、松下電器産業株式会社及び子会社は、2002年4月1日に米国財務会計基準審議会基準書第142号「営業権及びその他の無形資産」を適用した結果、営業権及びその他の無形資産の会計処理を変更した。

2004年3月31日現在及び同日に終了した会計年度の連結財務諸表は、読者の便宜のため米ドルに換算されている。私どもが換算を再計算した結果、私どもの意見では、日本円で表示された連結財務諸表は連結財務諸表注記2に記載された方法に基づいて米ドルに換算されている。

KPMG AZSA & Co.

日本、大阪

2004年4月28日